

新素材論 (New Engineering Materials)		4年・前期・1学修単位()・必修 機械工学科・担当 児玉 謙司
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-2(80%), D-1(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-1), (d-2a)
<p>〔講義の目的〕 アルミニウムやマグネシウム合金等の軽金属に代表される非鉄金属合金の種類と特性, およびその用途等, 機械工学技術者として必要となる素材に関する知識を身に付ける。また, 航空宇宙開発やエレクトロニクス産業などの近年の先端技術を支える各種新材料に関する基礎知識を養う。</p>		
<p>〔講義の概要〕 非鉄金属材料について, その特徴と用途, JIS 規格などを解説するとともに, 粉末冶金法, 複合材料, 超伝導体, 形状記憶合金などの各種新材料に関する基本的事項について概説する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 本講義にて学習する材料の種類は非常に多い。それらを単に羅列するのでは知識として身に付かない。これまでに学習した材料学の知識を生かし, 本講義で学ぶ種々の材料がどのような位置付けで成り立っているのかを, 自分自身で考察しながら学習する必要がある。</p>		
<p>〔到達目標〕 中間試験: アルミニウム, 銅, チタン, マグネシウム等各種合金の特徴と利用について理解する。 期末試験: 粉末焼結合金, 各種機能性材料, 超伝導体などの成り立ちとそれら素材が示す物性について理解する。</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験成績(80%), および課題レポート(20%)を総合して評価する。各定期試験においても60点の合格基準を設ける。各試験と総合評価にて基準をクリアーすることを単位認定の原則とする。</p>		
<p>〔教科書〕 「図解 機械材料」, 東京電機大学出版局, 打越二彌</p> <p>〔補助教材・参考書〕 「工業材料入門」, 東京電機大学出版局, 富士明良 「設計者に必要な材料の基礎知識」, 日刊工業新聞社, 手塚則雄, 米山猛</p>		
<p>〔関連科目〕 基礎材料学, 材料強度学, 設計工学</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	アルミニウム合金	Al合金の性質, Al合金の分類, 規格, 応用例について説明する.	
第2週	銅とその合金	純銅の性質, 種類および銅合金の状態図, 種類と用途について説明する.	
第3週	ステンレス	ステンレスの性質, 種類と用途について説明する.	
第4週	マグネシウムとその合金	Mgの性質およびMg合金について説明する.	
第5週	チタンとその合金1	Tiの性質とTi合金について説明する.	
第6週	低融点金属 高融点金属	錫, 鉛, ジルコニウム, クロム, モリブデン, タングステン等について説明する.	
第7週	材料分析技術	X線回折法, 分光, 各種顕微鏡など, 金属材料の分析手法について解説する.	
第8週	中間試験	中間試験を実施する.	
第9週	粉末焼結合金	粉末冶金法と焼結機械材料, 焼結工具材料, 各種セラミックスについて概説する.	
第10週	高分子材料	高分子材料の力学特性, ミクロ構造. 応用例について概説する.	
第11週	複合材料	繊維強化プラスチック, 繊維強化金属, クラッド材について説明する. 金属間化合物およびそれによる機能性材料の分類について説明する.	
第12週	水素吸蔵合金	水素吸蔵合金について概説する.	
第13週	超伝導材料	超伝導材料とその応用例について概説する.	
第14週	形状記憶合金	形状記憶合金, 超塑性合金について説明する.	
第15週	磁性材料 半導体材料	金属の示す磁性, および半導体の伝導について説明し, それら応用について概説する.	
期末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)